

教育センター研修だより



南砺市教育センター

小学校外国語活動・外国語科導入に向けての研修会②

下記の通り、南砺市小中学校の先生方を対象に、小学校外国語活動・外国語科導入に向けての研修会を実施しました。

- | | |
|-------|---|
| 1 日時 | 平成30年6月7日(木) 15:45~16:45 |
| 2 会場 | 南砺市役所 井波庁舎 |
| 3 講師 | 外国語専科教員 伊豆 多都子 先生 |
| 4 参加者 | 小学校教諭 21名 |
| 5 内容 | 外国語ワンポイントレッスン 授業で活用できる英語
～もしあなたが、一人で外国語活動を指導することになったら～ |



小学校段階の英語は、正確性よりも「楽しさ」「意欲を伸ばすこと」が求められています。

ほんの少し、英語の発音や表現に慣れることで、子供たちと楽しみながら英語の学習を進めることができます。

【研修会の内容】

1 クラスルームイングリッシュの練習

♪声に出して言ってみましょう♪ [文科省「研修ガイドブック」参照]

<授業の始まり> ※ □や__は、強調。

- ・みなさん こんにちは Hello, everyone.
- ・今日は何月何日ですか。What's the **date** today?

<活動の始まり>

- ・ゲームをしましょう。Let's play a **game**.
- ・机をきれいにしなさい。Clear your **desks**.

<活動中>

- ・真ん中に来なさい。Come to the **center**.
- ・やりたい人はいますか。Any volunteers? ※この際のボランティアは「進んでやる人」の意。
- ・並びなさい。Line up.
- ・質問はありますか。Do you have any questions?

<カード・ゲーム>

- ・カードを取り出しなさい。Take out your **cards**.
- ・カードを配りなさい。Deal the cards.
- ・カードを切りなさい。Shuffle your **cards**.

<活動の終わり>

- ・終わりです。Time's up.
- ・誰が勝ちましたか。Who won? ※win の過去形。

<授業の終わり>

- ・今日はこれで終わります。That's all for today.

<ほめる>

- ・よくできました! Good!/Great!/Good job!/Well done!
- ・[彼/彼女]に拍手しましょう。Let's give [him/her] a big hand.



発音がうまくいなくても
リズムを大事に

何が大事かを考えて
大事なところを大きく **ゆっくり**
あとは **小さく 速く 言**いましょう

励ます言葉で元気付けを

惜しい! Close!/Almost!
君ならできるよ。
You can do it.

2 トランプを使ったゲームで授業体験「英語の月名でダウト！」

- ・「月の名前に慣れ親しむ」のが目標。
- ・トランプを使用する。（13とジョーカーは使わない）
※ 教室で子供が「ダウト」をするときは、12の月のカードをトランプ代わりに使う方がよい。
- ・グループで指導者になる人を決める。
- ・ダウトゲームと同じルールで一人上がったら、ゲームは終わり。次の指導者と交代する。

<ルール>

1 (A) から12 (Q) までを裏向きにして、「January」「February」・・・と月順を英語で言いながら、1から順に出していく。自分の順番に対応したカードを出す必要はなく、別（嘘）の数字を出してもよい。他のプレイヤーは、嘘だと思ったときに、「ダウト」と叫ぶ。嘘を見破られた場合、場のカードをすべて引き取らなくてはならない。嘘でなかった場合は、「ダウト」と叫んだ人が、カードを引き取ることになる。手持ちのカードがなくなった人の勝ち。

<授業の進め方> ～英語を使って進めよう～

- ① 挨拶をする。
- ② 1月から12月の月名を練習する。
- ③ ゲームの説明をする。
- ④ グループでゲームを楽しむ。
- ⑤ 挨拶をする。



トランプカードを使って、12の月を言うアイデアになるほどと思いました。何度も繰り返すことで、慣れ親しみ、英語も覚えられます。



“Let's play a game.”のような簡単な英語なら、子供たちもグループ内で言えるようになると思います。

カードゲームを使った英語は、親しみやすく、自然と声が出るので、楽しく学べます。



資料

各校でもご活用ください

- ① 研修会で使用した伊豆先生からの配付資料（※クラスルームイングリッシュ等が載っています）
データ：10教育センター¥◎教材◎¥小学校¥10外国語¥「教育センター研修配付資料」
- ② クラスルームイングリッシュについて（文科省「研修ガイドブック」）

参加者の感想より

- ・トランプを使って、月を順番に言っていくことで、自然と頭の中に英語が入ってきた。
- ・「ダウト」は楽しい。One, two・・・と言っていけば、他の単語の練習にも応用できる。
- ・まずは、先生方が英語を苦痛に思わず、「ゲームやチャンツ、歌があるから楽しい」と思えるようにすることで、子供たちにも楽しさが伝わると思う。
- ・クラスルームイングリッシュをどんどん使っていきたい。ジェスチャー等を入れながら、指導できそうだった。